

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

大槌町教育委員会「放課後等の居場所づくりと学習支援事業」の成果と課題(岩手県大槌町)

取組事業

放課後等の居場所づくりと学習支援事業

活動実施場所

大槌町こどもセンター
吉里っ子スクール
コラボスクール 大槌臨学舎

取組概要

【放課後等の居場所づくりと学習支援事業】

復興へ向かう大槌町では各所で工事が進み、子供達が安心して過ごせる場所が少なく、また、仮設住宅で学習スペースが十分に取れない環境の子供もいるため、放課後等の安心・安全な居場所づくりや落ち着いて学習に取り組む機会と場の保障を図る。

◎「大槌町こどもセンター」「吉里っ子スクール」の開設

大槌町の教育理念の1つの要素「豊かな育ち」を実現するため、体験活動プログラムを週2回以上実施
「大槌町こどもセンター」：月曜日～金曜日、放課後～17:30 ※長期休業中は別途計画し、開設対象は、2年生～6年生

「吉里っ子スクール」：月曜日～金曜日、放課後～17:30 対象は、1年生(2学期)～6年生

◎「季節学びの場」の設定

長期休業中に児童が主体的に学習できる機会と場を保障する。

夏休み：9日間、冬休み：8日間(9:00～11:30) 対象は、3年生～6年生



大槌町こどもセンター
バイオリン教室



季節学びの場
(夏休み)

事業成果

【放課後等の居場所づくりと学習支援事業】

- ・「大槌町こどもセンター」利用登録率 約20% (11月現在) ← 昨年度18%
 - ・「吉里っ子スクール」利用登録率 約69% (11月現在) ← 昨年度62%
- 放課後の安心・安全な居場所のニーズがますます高まっている。
- ・一般社団法人「エル・システムジャパン」によるバイオリン教室と英会話教室を週2日、その他にも切り絵教室や読み聞かせ教室、書道教室、ペーパークラフト教室等、様々なプログラムを取り入れ、子供達一人ひとりの個性に合った豊かな体験活動を実現することができている。
 - ・「季節学びの場」 夏休み：登録者数75名 ← 昨年度42名
- 学校と連携を図り、児童・保護者への周知を徹底したことや、ニーズの高まりにより、両施設とも昨年度よりも利用登録率が上回った。「大槌検定」合格を目標にしたり、ICT機器を利用したりしながら、児童が主体的に学習できた。

課題や今後の取組

(課題)

- ・「放課後児童クラブ」の受入体制が変わりつつある状況を踏まえ、より体験活動プログラムを充実させながら、今後の両施設の運営等を検討していく必要がある。
- ・学校と放課後等の学習支援の連携をより深め、大槌町の教育理念の1つの要素「確かな学び」を実現するためにコミュニティ・スクールをいっそう推進していく。